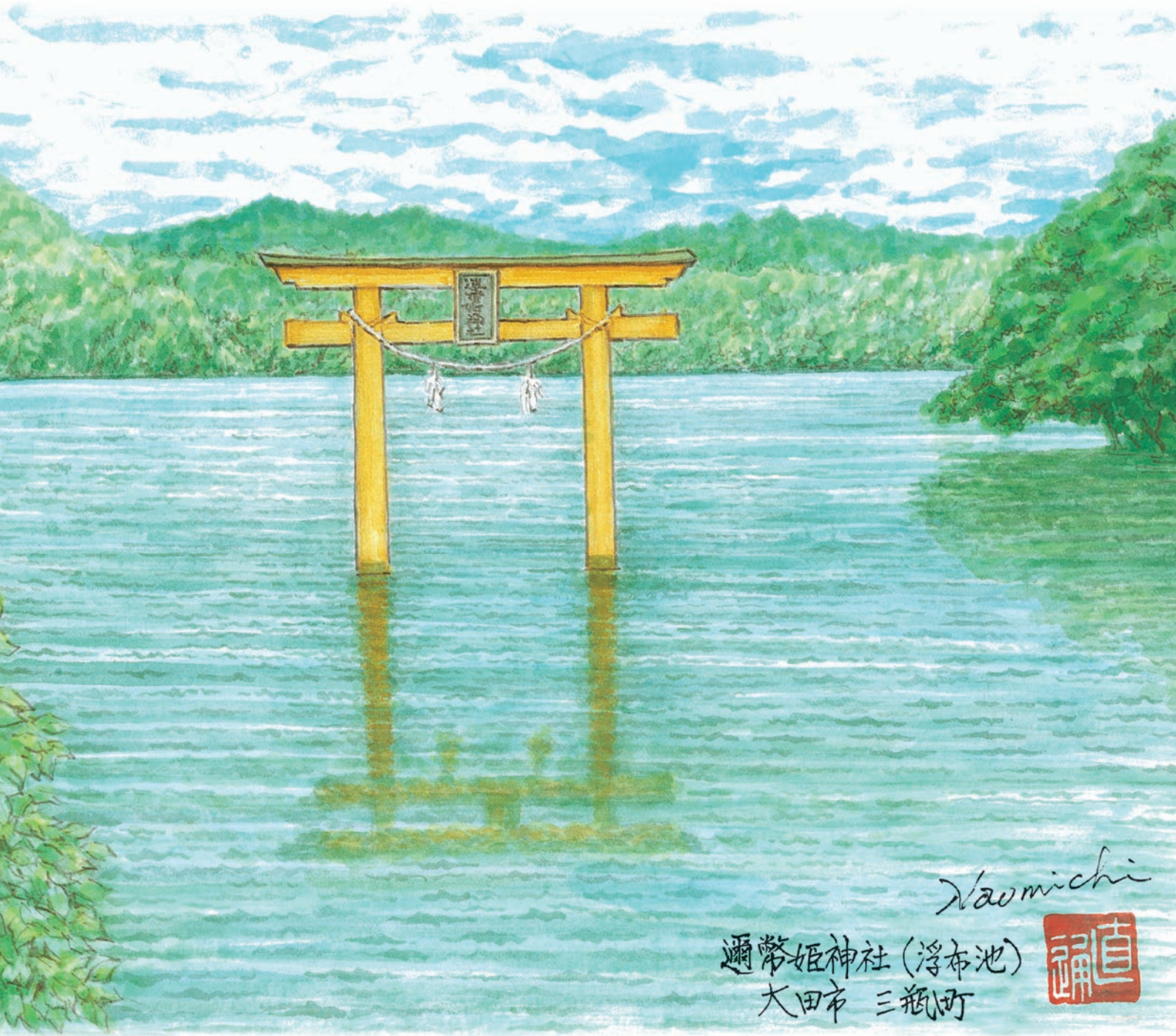


# JALしまねびより

今月の特集 JALしまね 第5回通常総代会開催



*Naomichi*

瀬幣姫神社 (浮布池)  
大田市 三瓶町



第5回

# 通常総代会特集

J Aしまね第5回通常総代会を6月30日（日）、松江市の島根県民会館で開催しました。

2019



議長団



投票風景

当日は、総代定数1,000人（欠員14人）に対し、965人（本人出席575人、委任状5人、書面出席385人）の出席、議長団に、稲田宗総代（くにびき地区本部）、西川友史総代（西いわみ地区本部）の両氏を選出し、各地区本部総代から意見、要望が出される中、前年度事業報告、新年度事業計画など全議案が可決承認されました。竹下組合長が「今年の5月31日をもって政府が定めた『農協改革集中推進期間』が終了した。一定の評価はあったものの、予断を許さない状況は続いている。このような時だからこそ、協同の力を結集するとともに関係機関との連携を強化し、人・農地・地域資源をフルに活用した『農業者の所得増大』『農業生産の拡大』へのさらなる挑戦、そして『地域の活性化』への貢献として、組合員の皆さまの声に基づいた総合事業とJA運営を行っていく」とあいさつ。

来賓の丸山達也島根県知事からは、「昨年6月に県が掲げた農業産出額100億円増加の目標に向け、先般JAグループ島根と島根県の間で目標の早期達成に向けた共同宣言を行い、車の両輪として双方が全力を尽くすことを改めて宣言した。令和という新しい時代にふさわしい積極的な姿勢で連携関係を構築し、水田園芸をはじめとする魅力ある農業の確立、島根の強みを活かした特色ある生産の振興、地域を支えていただく中核的な担い手の確保を強力に推進していきたい。活力ある農業・農村の実現に向けて、引き続き全力で取り組んでいく」との言葉をいただきました。

また、役員改選を行い、その後の理事会において新組合長に石川寿樹の就任が決定しました。石川新組合長のもと新たな執行体制がスタートしました。

# 平成30年度 事業報告

平成30年度は、経済の緩やかな回復の中、企業の設備投資は堅調に推移し、個人消費も持ち直しの傾向となった一方、世界経済の緩やかな減速を背景に輸出は伸び悩み、景気の足踏み感が見られました。

また、海外では米国と中国の経済対立による貿易戦争とも呼ばれる関税政策の応酬や英国のEU離脱を巡る混乱、リーダー照射事件や元徴用工問題による韓国との関係悪化など、国際的な政治・経済の先行きも不透明感が高まっています。

島根県内の経済を振り返ると、雇用情勢は改善の動きが見られ、個人消費も緩やかな持ち直しの動きが見られるものの、少子高齢化、人口減少は一段と進展していく見込みであり、景気回復の実感を得るには至っていません。

農業情勢では、豪雨や台風、地震など多くの自然災害が発生し、全国各地で農産物・農業施設等に甚大な被害をもたらした他、9月に発生した豚コレラはいまだ終息の気配が見えず、復興・防疫の取り組みを引き続き進めていく必要があります。

国際貿易交渉では、平成30年12月にTPP11、平成31年2月に日EU・EPAが発効するなど、関税の削減や撤廃に向けた動きが始まっています。今後、米国との二国間交渉が開始される見込みであり、これらの動向について引き続き注視していく必要があります。

組織情勢では、平成30年6月に公表された農

林水産省による「農協の自己改革に関するアンケート調査」の結果で浮き彫りとなった、自己改革にかかるJAの取り組みと認定農業者等の認識との乖離について、解消に向けた担い手との対話を一層進める必要があります。また、農協改革集中推進期間が期限を迎えることから、平成30年12月から取り組みを始めた「JAの自己改革に関する組合員調査」の結果を受けた組合員との関係強化やJAへの理解促進に向けた取り組みについても引き続き進めていく必要があります。

こうした状況の中、平成30年度は「農業戦略実践3カ年営農計画」の最終年度として、県や市町村、関係機関と連携し、営農指導と経営指導を通じた農業所得の増大、農業生産の拡大に向けた取り組みを実施しました。

取り組みの結果、販売品販売・取扱高が37,752百万円、購買品供給高が33,915百万円、貯金残高が977,670百万円、貸出金残高が298,851百万円、長期共済保有高3,438,480百万円となりました。また、財務状況の安全性を示す指標である自己資本比率は14.06%となりました。

収支面については、事業利益が1,628百万円、経常利益は2,594百万円。当期剰余金は1,869百万円となり、前年度実績を大きく上回りましたが、貸倒引当金の算定方法を変更したことにより、特に信用事業において貸倒引当金戻入益が933百万円発生したことが主な要因です。

## 財務・事業成績の推移

(単位：百万円)

区分	項目	平成29年度	平成30年度
財務	事業利益	1,016	1,628
	経常利益	2,189	2,594
	当期剰余金	609	1,869
	総資産	1,092,634	1,113,478
	純資産	77,986	79,235
信用事業	貯金	984,693	977,670
	預金	499,645	522,005
	貸出金	299,671	298,851
	有価証券	167,390	155,212
	国債	80,375	78,123
	その他	87,015	77,088
共済事業	長期共済保有高	3,541,460	3,438,480
	短期共済新契約掛金	10,184	9,805
購買事業	購買品供給高	34,014	33,915
販売事業	販売品販売・取扱高	38,129	37,752

(注1) 貯金は譲渡性貯金を含む。

(注2) 販売品販売高・取扱高は受託販売品と買取販売品の合計。

## 平成30年度(第5事業年度)剰余金処分

(単位：円)

1. 当期末処分剰余金	2,643,671,345
2. 剰余金処分数額	1,983,530,105
(1)利益準備金	374,000,000
(2)任意積立金	1,386,464,000
農業振興積立金	200,000,000
農業災害積立金	200,000,000
教育研修充実積立金	150,000,000
税効果積立金	236,464,000
信用事業システム開発積立金	200,000,000
BIS規制強化対応積立金	200,000,000
施設等更新積立金	200,000,000
(3)出資配当金	223,066,105
3. 次期繰越剰余金	660,141,240

(注1) 出資配当金は年1.0%の割合である。

(注2) 次期繰越剰余金には、営農指導、生活・文化改善事業の費用に充てるための繰越額93,486千円と、地区本部業績還元費用に充てるための繰越額100,000千円が含まれている。

# 令和元年度 事業方針

## 農業振興

### 方針

令和元年度は「第2次農業戦略実践3カ年営農計画」の初年度となり、第1次計画での成果と反省を踏まえ、島根農業のモデルとなる経営形態を提案することにより農業戦略を明確にし、多くの組合員がJAに結集することで「農業所得の増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の実現につながる目標の達成に向けて取り組みます。

また、JAしまねがリーダーシップをとり、更に組合員の経営基盤の強化を進め、島根県が目標に掲げた「農業産出額目標730億円」「生産農業所得目標300億円」の目標達成に向け取り組みます。



### 重点事項

- ① 新規就農者を含む地域の担い手育成
- ② 担い手経営体の経営課題に対応した農業経営管理支援
- ③ JAの総合力を発揮した事業承継支援の実施
- ④ 農作業等の安全・安心対策
- ⑤ 営農指導での生産者貢献
- ⑥ 農業振興支援事業の実施
- ⑦ 「重点推進5品目」の拡大を核とした水田での園芸振興の推進
- ⑧ 主食用米の「きぬむすめ」「つや姫」への品種誘導
- ⑨ 島根県産農畜産物の安全安心の取り組み
- ⑩ 担い手の労力軽減の取り組み

### 全般

### くらしの活動

豊かなくらし・地域づくりを目的とし、地域活性化の核となる取り組みとしてすすめます。

また、食と農、地域とJAを結ぶ取り組みとして、青年組織、女性部をはじめ組合員や地域住民など幅広い参

加・参画（アクティブ・メンバーシップ）を促進し、農協運動の活性化を図ります。

### 販売事業

しまねブランド商品として市場や卸に頼らない県産農畜産物の販売の強化に取り組みとともに、生産基盤の維持・拡大を図るため、「農業戦略実践3カ年営農計画」に掲げた「販売を起点としたものづくり」の実現に向け、行動計画を策定し進捗管理を行うことにより、生産現場での営農指導と販売を連携させた実践策を講じます。

### 購買事業

農家組合員の営農を支え地域農業の振興に資するため、営農指導部門・販売部門・TACと一体となって効率的な購買事業を進め、農家組合員の生産コスト低減と組合員サービスの充実・強化に努めます。

また、組合員・地域住民の暮らしを支援し、地域の活性化に貢献するとともに、時代の変化・多様なニーズに対応した商品の提供が行えるよう、生活購買事業・店舗購買事業・自動車燃料

事業を積極的に取り組み、より一層のサービスの充実に努めます。

### 信用事業

総合事業の強みを活かして他業態と差別化した価値を提供しつつ、コスト削減につながる事業見直しにより持続可能な収益構造を構築し、農業・地域から一層必要とされる存在を目指します。

### 共済事業

組合員・利用者のくらしを守り、農業経営と地域社会に貢献する活動を展開するため、地域密着の事業活動である3Q訪問活動を通じて「ひと・いえ・くるま」の総合保障の提供及び「農業リスク診断活動」を実践し、一層の『信頼』を高めるとともに、次世代・次世代など新たなJAファン（理解者）づくりにより事業基盤の維持・拡大を図ります。

また、高位均質で満足度の高いサービスの提供、適正・迅速かつ効率的な事務処理の実施及びLabels（※携帯用タブレット端末）の全面活用により事業の効率化・機能強化を図り組合員・利用者ニーズに応えます。

## 新役員代表挨拶



代表理事組合長  
石川 寿樹

この度、竹下前組合長の後を受けて、組合長に就任致しました石川でございます。もとより、その器ではございませんが、よろしくお願い申し上げます。

若干自己紹介をさせていただきますと、わたしは昭和27年生まれ、満66歳になります。昭和52年に当時の出雲市農協に入り、爾来42年に亘り、JA一筋に歩んでまいりました。

さて、7月より3年の任期をいただいたわけですが、わたしに課せられた役割は、大きく二つあると思っております。

その一つは、「統合の効果」を更に発揮することです。平成27年3月にJAしまねが誕生し、早いもので4年余りが経過しました。徐々にその成果が現れつつありますが、とは言え、統合して良かったなあと実感

できるようなレベルには達していません。まだまだ調整すべき事項がたくさん残っていますので、速やかに統一していく必要があります。

そして今一つは、「自己改革」の更なる実践です。政府主導の農協改革の集中推進期間は本年5月を以て一応のピリオドが打たれました。しかしながら、われわれ自らが掲げた「自己改革」は、むしろこれから本番です。例えば、柱の一つである「農業者の所得増大」については、生産資材価格の引き下げ等に取り組みでまいりましたが、まだ引き下げの余地があると思っております。

また、「農業生産の拡大」についても、米の買取制度や独自の農業振興支援事業により、販売高は統合前と比較すると、平成30年度は13億円増の377億円となりました。更に令和3年度を最終年度とする次期中期経営計画では、39億円増の416億円の計画を立てています。自ら立てた計画を絵空事で終わらせるのではなく、目に見える形で実践していくことが、何よりも重要な使命だと思っております。

最後に、今後一層のご理解とご協力をお願い申し上げます、ごあいさつといたします。

## 退任役員代表挨拶



前代表理事組合長  
竹下 正幸

退任にあたりごあいさつを申し上げます。

先の通常総代会を以て、任期満了により平成28年6月より務めてまいりました、代表理事組合長を退任いたしますこととなりました。

在任中大過なくその任を果たせましたのも、組合員の皆様をはじめ、関係機関、各団体、地域の皆様、そして職員の皆様など、本当に多くの方々のご理解とご協力の賜物と、心から感謝を申し上げます次第でございます。

振り返ってみますと、JAしまねの発足以後、「信頼され、選ばれ、ご利用いただけるJA」を目指し、統合メリットの創出に向けて事業改革や運営改革などに取り組みとともに、「儲かる農業の実現」を目指し、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を重点課題として自己改革に取り組んで参りま

した。

また、JAの経営は経済情勢と社会情勢の変化もあり、非常に厳しい状況にあるなか、組合員の皆様の負託に因應するためには、JAの健全経営を行う体制整備に併せ、事業改革を実施する事が、私たちに課せられた課題であります。このような中、第4回通常総代会において、次期に向けた運営改革の決議をいただき、平成30年11月の臨時総代会では役員定数の見直し等の新たな運営体制についてご承認いただき、体制整備を行うことができました。一方、事業改革では、信用共済事業において、本店と支店を直結する文鎮型組織とし、事業部制的運営とするなど、一定の方向性を決定しましたが、営農経済生活事業につきましては、取り組まなければならない今後の課題が残存しています。JA改革においてはTPPやTAG等、JAを取り巻く農業情勢は依然厳しい状況が待ち受けておりますが、今後も組合員の皆様のご協力をいただき、役職員一同が共通認識を持ち、一丸となって取り組むよう期待しています。

組合員の皆様には、引き続きのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、心からの感謝を申し上げます、退任のごあいさつといたします。



# 新役員紹介

J Aしまねの発展につとめてまいります。  
よろしくお願ひ致します。



常務理事  
(信用、共済)  
有田 吉弘



常務理事  
(営農、経済)  
石川 薫



代表理事専務  
高木 賢一



代表理事副組合長  
山根 盛治



代表理事組合長  
石川 寿樹



くにびき地区本部  
常務理事 本部長  
栗原 令



理事  
佐々木孝子



理事  
高野 智子



理事  
諏訪 智子



理事  
小村 伸治



やすぎ地区本部  
理事  
根来 茂樹



やすぎ地区本部  
常務理事 本部長  
伊藤 精一



くにびき地区本部  
理事  
多久和 宏



くにびき地区本部  
理事  
田中 鈴夫



くにびき地区本部  
理事  
菅井 一



隠岐地区本部  
常務理事 本部長  
佐々木賢治



雲南地区本部  
理事  
澤田 秀樹



雲南地区本部  
理事  
石原 公夫



雲南地区本部  
理事  
新田 昭喜



雲南地区本部  
常務理事 本部長  
竹下 克美



出雲地区本部

理事  
藤江美由紀



出雲地区本部

理事  
福島 隆



出雲地区本部

常務理事 副本部長  
珍部 誠



出雲地区本部

常務理事 本部長  
岡田 達文



隠岐どうぜん地区本部

常務理事 本部長  
新谷 徳昭



斐川地区本部

理事  
青木 広幸



斐川地区本部

常務理事 本部長  
山根 善治



出雲地区本部

理事  
永瀬のり子



出雲地区本部

理事  
伊藤 篤男



出雲地区本部

理事  
立脇 渉



いわみ中央地区本部

常務理事 本部長  
佐々木 豊



島根おち地区本部

理事  
山田 康司



島根おち地区本部

常務理事 本部長  
日高 光弘



石見銀山地区本部

理事  
川上 隆



石見銀山地区本部

常務理事 本部長  
山崎 辰次



西いわみ地区本部

理事  
青木 和憲



西いわみ地区本部

理事  
中島 重秋



西いわみ地区本部

常務理事 本部長  
田村 清己



いわみ中央地区本部

理事  
藤若 将浩



いわみ中央地区本部

理事  
中東多久夫



監事  
川神 守



監事  
岡 睦夫



常勤監事  
田尻 宏



常勤監事  
青砥 正幸



代表監事  
名原 佳宏



雲南地区本部

執行役員副本部長  
源 之美



くびき地区本部

執行役員副本部長  
奥原 展芳



員外監事  
山川 博司

# 第5回 総代会



**Q 1 :** 正組員、准組員ともに減ってきている。このことについて、これまでの取り組みや今後の対応策を聞きたい。

**A 1 :** 統合以前より高齢化や死亡による脱退が進む一方で、若年層の加入が進まない状況にあります。今後の大きなテーマとして、我々の組織基盤維持の観点で検討して参ります。その中で、平成29年度より一戸複数正組員化の取り組みを展開しており、今年度も継続して取り組む計画を立てています。また、増資の取り組みとして役職員による増資運動を前年度と今年度の2年間取り組む予定としています。

**Q 2 :** 農林中金からの人材受け入れの背景や、奨励金の引き下げの課題への対応等の考えを伺う。

**A 2 :** 農林中金は農業振興への資金支援が厳しくなるなか、全国で400名、島根県に3~4名程度の農林中金の職員を派遣する人的支援に方針が変わってきています。また今回の役員改選では農林中金から理事を受け入れる提案としています。奨励金の引き下げは以前から話があり、大変厳しい内容の中で中期3カ年計画を策定いたしました。事業改革を含めてこれから取り組んでいく考えです。

**Q 3 :** 貸倒引当金の算出方法の変更に伴う戻入益10億円とあるが、変更となった経過を確認したい。

**A 3 :** 公認会計士監査や財務処理の基準例が変更になり、これまでの税法基準から、貸倒実績率に基づく引当てを合理的な基準として引当てることとなりました。その結果、これまで引当てていたものを戻し入れることになりました。

**Q 4 :** 県内農業の持続可能な発展に向け、様々な担い手・後継者対策がなされてきたが、目覚ましい解決に

は至っていない。これからは行政との連携を更に進め対応することが求められるが、JAしまねの社会的使命を今一度伺いたい。

**A 4 :** 非常に大きな課題であり、JAのみならず島根県をあげて取り組むべき問題と思っています。特に農家を中心とした中山間地の人口減少には、産業政策、農業振興政策、そして住みよい町づくりといった課題のもとに、行政や地域の皆さんと一緒に取り組む問題と思っています。その中で、JAも率先して取り組んで参ります。

**Q 5 :** 教育研修機能を県中央会へ移管するとあるが、考え方やあるべき姿を伺う。また事業総利益に基づく配置ではなく、農家が必要とする人員配置や要因管理をお願いしたい。農業は土地と結びついた生産作業であり、農業者に寄り添った職員の教育が中央会にできるのか不安に感じる。地元に着した教育研修をもっと取り入れてほしい。

**A 5 :** 統合により教育研修の担当部署を県中央会からJAしまねの内部部署に移管した経過があります。その後の検討で、教育研修についてはJA内部よりも外部の機関がJA職員研修、育成にあたるべきであるとの考えがまとまりました。全国中央会が教育研修の統括機関として存在している中、全中、県中にてJAしまねの職員教育、人材育成を行うかたちに体制を変更するものです。またJAの事業は総合事業ですので、人員配置にあたっても事業の特性、実態を念頭におきながら基準を定め今後再配置等を実施して参ります。地域に着した教育研修についても検討して参ります。

このほかにも幅広くご意見をいただきました。



報告事項

「JAバンク基本方針」の変更について

第15号議案  
令和元年度における監事の報酬額の決定について

第14号議案  
令和元年度における理事の報酬額の決定について

第13号議案  
退任監事に対する退職慰労金の支給について

第12号議案  
退任理事に対する退職慰労金の支給について

第11号議案  
令和元年度指導事業に要する経費の賦課及び徴収の方法の決定について

第10号議案  
会計監査人の選任について

第9号議案  
経営基盤強化積立金規程の一部改正について

第8号議案  
監事監査規程の一部変更について

第7号議案  
規約の一部変更について

第6号議案  
定款の一部変更について

第5号議案  
役員を選任について

第4号議案  
令和元年度事業計画の設定について

第3号議案  
令和元年度事業計画の設定について

第2号議案  
令和元年度（令和3年度）の設定について

第1号議案  
平成30年度事業報告及び剰余金処分案について

本総代会にて付議した議案は次のとおりです。





# 「JAしまね自己改革取組宣言」 に基づき、自己改革を一層進めて まいります。

6月30日の第5回通常総代会において、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つの基本目標の実現に向けて、引き続き、組織を挙げて取り組む旨の「自己改革取組宣言」（案）が満場一致で採択されました。

## JAしまね 自己改革取組宣言

JAは、農畜産物の販売事業のほか、信用事業、共済事業などの様々な事業を、営農相談やくらしの相談活動などを通じて総合的に結びつけ、農業振興や地域づくりに取り組んでいます。「総合事業」として実施しているからこそ、JAの経営基盤が安定し、組合員の負託に応えることが可能となっています。

また、人口減少や高齢化が進むなか、JAの各事業・サービスの提供による生活インフラ機能の発揮と、「食と農」、「助け合い」の視点から、組合員だけでなく地域住民の方々にも参加いただく「JAくらしの活動」の展開が、ますます重要なものとなってきています。

近年、農業者である正組合員に加え、JAの事業を利用し、JAの理念・活動に賛同いただける地域住民の方々の准組合員加入が増えています。准組合員の立場から、JA、農業者が進める「食の安全・安心」の取り組みを「地産地消」という形で後押しするとともに、JAが行う各組織活動への参加によって、地域農業を支える「農業振興の応援団」となっています。正組合員と准組合員の一人ひとりが力を合わせ、地域の農業とくらしを支えあっているのです。

こうした環境・背景を踏まえ、JAしまねは自己改革の3つの基本目標の実現に向けて、組合員の皆さまとともに、以下のとおり組織をあげて取り組みを進めてまいります。

### 記

1. 農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化に取り組めます。
2. 協同組合の原点に立ち返り、組合員の皆さまとの話し合いを、より一層深めていきます。
3. これまでも、これからも、JAしまねは総合事業を展開し、地域にとって、なくてはならない組織であり続けます。

以上

令和元年6月30日

第5回 島根県農業協同組合 通常総代会



雲南

## 農業者・女性部健診新設 対象広く項目充実

雲南地区本部とＪＡ島根厚生連は、農業生産や日々の生活の土台となる「健康づくり」を支援しようと、今年から新設した「農業者・女性部健診」を6月21日に同地区本部で実施しました。

農業従事者や女性部員をはじめとした組合員が対象で、一般的な健康診断の項目にはない、胸部ＣＴ検診（40歳以上）や甲状腺検査などがセットとなって、ＪＡグループの助成により7,000円で受けることができます。健診を受けた女性は「かかりつけ医では受けられなかった血液、尿検査の他にも色々検査できてよかった。来年も受けたい」と健診内容に満足した様子でした。

ＪＡ島根厚生連健診普及部の江角幸夫部長は「受診者アンケートでは約40%の方が、毎年健診を受診していない現状にあり、ＪＡグループが魅力ある健診を提供し、直接、組合員に呼び掛けることは大いに意義がある。今年は県内全11地区本部で実施を予定しており、各地区本部と協力して取り組みを進めたい」と話しました。



「農業者・女性部健診」を受ける女性

くにびき

## カボチャを重点振興品目に！ 6月下旬より共販出荷を開始

くにびき地区本部は7月2日、中海干拓研修センターで「カボチャ出荷検討会」を開催し、生産者やＪＡ職員、各市場担当者など43名が参加しました。

6月27日より、松江市内の市場を中心に広島や大阪の市場に向け、共販出荷を開始しており、品質や生育状況、出荷する際の規格や品質基準、収穫適期、保存方法を確認する目的で開催しました。

当日は、松江合同青果や広印広島青果、東果大阪の担当者が市場の情勢について解説。続いて、営農指導課の犬山浩二園芸特産係長が「収穫後にキュアリングをすることで腐れを防ぎ、甘みも増す。収穫適期を逃さず、適切な保存に努めてほしい」と説明しました。その後、参加者は出荷前のカボチャを実際に手に取ったり、試食したりするなど品質や味を確認しました。

同課の岩田政彦課長は「昨年より重点振興品目として取り組んでいる。ほくほくとした食感と濃厚な甘みを堪能してほしい」とＰＲしました。

参加した吉岡清さん（朝酌町）は「コクがあり、おいしいカボチャなのでたくさんの方に食べてもらいたい」と話しました。

今年度は共販面積を1.6haから3.5haに拡大。出荷量は92tを計画しており、出荷は8月末まで続きます。



カボチャを手に取り状態を確認する参加者

隠岐

## ＪＡ女子大学で ぶどう狩りを体験

ＪＡしまね女子大学隠岐キャンパスは7月27日、第8回目の講座として日帰り修学旅行を行いました。朝早くから高速船レインボーに乗船し、出雲地区本部管内でぶどう園を経営する大社観光ぶどう園へ出かけました。ぶどう園では、今が旬の「デラウェア」狩りを体験し、出雲地区本部管内の特産品であるぶどうを味わうことができ、参加した生徒からは「甘くて大変おいしい」と好評で、1人2房程度はぺろりと食べていました。今年は天候不順等の影響で良品が例年に比べて少ないとのことから、生徒からは「良品のぶどうが沢山ある時にまた来たいね」と声が聞こえました。

ぶどう狩りの後は、歴史を感じる体験を目的に松江の堀川遊覧船に乗船しました。隠岐の人間は船に乗る機会が多いものの、風情のある松江城の周辺をゆったりと遊覧できたことは、一緒に旅をした者同士の良い思い出になりました。



やすぎ

## ホック食育フェスタで 金芽米をＰＲ

やすぎ地区本部は松江市のくにびきメッセで6月22・23日の2日間、(株)フーズマーケットホックが主催する「ホック食育フェスタ2019」に出展しました。

同地区本部はＪＡしまねの「金芽米」と「ロウカット玄米」をＰＲするため、試食や健康特性の説明などを行い、来場者に好評でした。また、家庭でも食べてもらおうと、サンプルとして金芽米3合を400袋プレゼントし、サンプルを受け取った来場者は「今日いただいた金芽米を家族と一緒に食べてみます」と話しました。

今年は食品メーカーをはじめとする約60のブースが出展、2日間で約1万名が来場し大いに盛り上がりました。精米センターの三島裕所長は「金芽米のおいしさを実感してもらおう良い機会となった。さらに金芽米の認知度を高めたい」と話しました。



**斐川 美肌はとむぎ料理講習会**

斐川地区本部よい食工房は7月9日、ひかわあぐりキッチンふぁみーゆで「誰でも簡単・お手軽レシピ」と題して「美肌はとむぎ料理講習会」を開催しました。はとむぎに興味を持つ13名が参加し、郷土マクロビアンの岡 里美さんを講師に招き、「はとむぎ茶飯」「とうもろこしとはとむぎのスープ」など計5品を調理しました。出来上がった料理を岡さんと一緒に堪能しながら、はとむぎについての効果・効能についての説明を受けた参加者は、「地元こんな素晴らしい食材があったなんて驚いた!」「健康と美容のためにも、これからは家族で食べていきたい」などと感想を話しました。健康・美容志向が高まる中、よい食工房では斐川町産のはとむぎの良さを多くの人に知ってもらうために、このような料理講習会を今後も継続して開催していく予定です。



**石見銀山 大田市長へメロンを贈呈**

温泉津町施設園芸組合の岩倉勝政組合長、厚朴邦広副組合長は7月11日、大田産メロンPRのため大田市役所を訪れ、楯野弘和大田市長に「アムスメロン」を贈呈しました。同組合では7月3日から「アムスメロン」の出荷が始まっています。

早速、試食した楯野市長は「とても甘くておいしい」と感想を話しました。

岩倉組合長は「糖度が高く、美味しいメロンに出来上がっている」と語りました。

大田市長へのメロン贈呈は地元産のメロンを広くPRしていきたいという思いから企画しています。

楯野市長は「暑い中の作業だが、体調に気をつけながら地域のために頑張っていたください」と激励しました。



市長（左）にメロンを贈呈する岩倉組合長（中央）、厚朴副組合長

**隠岐 どうぜん 令和初の家畜市場の開催**

7月3、4日の両日、新元号初の隠岐どうぜん管内家畜市場が開催されました。隠岐諸島では、春（3月）、夏（7月）、秋（11月）の年3回家畜市場が開催され、島の一大イベントとして風物詩となっています。隠岐どうぜん管内は、知夫里島（知夫村）、中ノ島（海士町）、西ノ島（西ノ島町）の3島3町村で構成されており、各町村に家畜市場が常設されていて、畜産の重要性が理解できると思います。3日の知夫市場を皮切りに、海士市場、翌4日の西ノ島市場と、子牛240頭、成牛22頭の合計262頭の上場となり、前回（3月）市場より上場頭数は減りましたが、平均価格は若干上昇しました。畜産総合施設として開設した西ノ島家畜市場が、関係者の協力によりスムーズな運営となり、無事1周年を迎えた記念を込め、前日の2日に当施設中央広場にて、購買者、畜産農家とJAをはじめとする関係者による、バーベキュー意見交換会を開催しました。出席者の貴重な意見を聞くことができ、有意義なひと時となりました。また、今後もこのような場を設けてほしいとの声が多く聞かれ、畜産の活況に結び付けたいと同時に大きな励みになりました。



**出雲 島根県産シャインマスカット 出荷本格化を前に目合わせ**

出雲地区本部は7月15日、同地区本部荒茅ぶどう集荷所で令和元年産「シャインマスカット」の出荷目合わせ会を開きました。出荷の本格化を前に、生産者ら約150人が等級規格を確認しました。

同地区本部管内の「シャインマスカット」の作付面積は右肩上がりで増えており、今年産は28ヘクタール（前年比16%増）で栽培します。ギフト需要に対応するため8月上旬までの出荷量を伸ばし、管内の販売金額3億円を目指します。

同部会大粒系部の吾郷均部長は「品質重視で他産地と勝負していく。商品を扱っているという意識を持って、選果選別を徹底してほしい」と呼びかけました。

JAしまねでは、激化する産地間競争に対応しようと、今年産から県下の「シャインマスカット」の共同計算を実施しています。一元的に管理して品質の高位平準化を図るとともに、ロットの拡大で売り場確保、県産「シャインマスカット」の地位向上を図ります。



出荷規格を確認する生産者

西いわみ

## 益田市長に旬のメロンと ブドウを贈呈しました

旬を迎えるメロンと、大粒系ブドウを味わってもらおうと7月10日、益田メロン部会(部会長大場尚俊)と西いわみぶどう部会(部会長岩本和雄)が揃って益田市山本浩章市長を訪ね、「アールスメロン」と「シャインマスカット」「巨峰」「ピオーネ」を贈呈し益田産農産物をPRしました。

当日は同市常盤町の市長室に、大場部会長と岩本部会長が化粧箱に入った「アールスメロン」と「シャインマスカット」「巨峰」「ピオーネ」を持参しました。

試食した山本市長は「メロンは口当たりが良くとても甘い。ブドウも香りが良くおいしい」と喜びました。

JAでは、今後も管内農産物のPRや販売促進に向けた取り組みを継続していく計画です。



島根  
おおち

## ケイトウ栽培いよいよ大詰め

島根おおち女性部では営農活動として「ケイトウ栽培」に取り組んでおり、今年で8年目をむかえました。2月に開催した「ケイトウ栽培講習会」を皮切りに、4月中旬からは各支部で「種まき講習会」、5月には「定植に向けた栽培現地講習会」、6月には「栽培管理講習会」、7月には「出荷目合わせ会」を開催し、出荷のピークとなるお盆に向け準備を行っています。天候に左右され、毎年様々な課題もありますが、4月に一粒一粒丁寧に蒔いた種は順調に成長し出荷時期を待っています。今年も「赤」、「オレンジ」、「ピンク」3色のケイトウの出荷を予定しています。

島根おおち女性部では「ケイトウ栽培」の活動を継続していくことで、ケイトウ栽培の輪、そして女性部活動の輪を拡げていきたいと考えています。



ケイトウの生育状態を確認する島根おおち女性部寺内部長

本店

## アグリミーティング& 農機総合展示会 大盛況!

6月13、14日の2日間、松江市のくにびきメッセで「アグリミーティング2019」と「第9回農機総合展示会」を開催しました。

今年のテーマは「『新時代』みんなで創るしまねの農業～島根の農業半端ないって!!～」に設定。相談コーナーなど様々なブースや、最新農業機械を展示し、担い手の皆さまが抱える様々な課題の解決に向けて、JAグループの総合力を発揮し提案しました。県内で生産された旬の野菜や果物、加工品を販売し島根農業の魅力を発信する「島根大産直市」も同時に開催し、2日間で担い手や一般消費者あわせて5,500人の皆さまにご来場いただきました。

メインステージでは「下町ロケット ヤタガラス編」の登場人物のモデルとなった北海道大学大学院農学研究院副院長・教授の野口伸氏から、スマート農業技術の必要性や実用化が期待される最新の技術について講演いただいたほか、女性部フレッシュミズ部会がプロデュースした農作業着ファッションショーを行うなど会場は大変盛り上がりしました。



相談ブースやメーカーの展示が並ぶ会場は多くの人で賑わいました

いわみ  
中央

## 青年連盟 出前授業で地域と交流

いわみ中央青年連盟(柿木悟委員長)は7月19日、公民館活動の一環として浜田市社会福祉協議会の生活支援コーディネーターからの依頼を受け、この度、初めてこんにやく作りの出前授業を行いました。当日は20名の参加者を4班に分け、こんにやく芋をサイコロ状にカットするところから作業を始めました。作業中は和気あいあいとおしゃべりしながらでしたが、最終工程の茹でる段階になると、他の班の出来具合が気になるのか、集中し徐々に無言になりました。自分達で作ったものは臭みもなく、格別においしいこんにやくが出来上がりました!参加された皆さんは大満足でした。青年連盟は今後も交流活動や、食農教育活動を積極的に行っていきます。



JA  
自己改革  
実践中

JAグループ島根

# JAしまね農業振興支援事業 活用事例のご紹介



JAしまねでは、経営拡大に向けた基盤整備や機械等の更新対策、県域でのモデル事業を実施するために、「JAしまね農業振興支援事業」に取り組んでいます。

古谷光教さん（44歳）は、隠岐郡知夫村で繁殖牛を飼育しています。知夫村での飼育は、その環境を活かした放牧が主となりますが、一方で放牧であるが故の事故や牛の行方不明などが起こりやすい状況があります。古谷さんは牛たちが事故にあわないよう、毎日の観察や見回りを徹底するなど、細やかな気配りを欠かしません。

JAしまね農業振興支援事業は平成29年11月に新規就農の際、就農にあたって必要となる牛舎の整備や畜産専用機械の導入、また牛の価格高騰が続いていることから所得の安定を図るため繁殖母体となる雌牛の早期確保に活用しました。

新規就農者や後継者不足など隠岐地域の大きな課題に向け、JAには新規就農者や家畜農家への継続的な支援を期待しています。

古谷さんからは「年間出荷頭数30頭が目標。知夫村全体の出荷頭数の増加に貢献したい」と意欲をお話いただきました。

隠岐郡知夫村 古谷 光教さん



## 一所懸命 青年連盟

### JAしまね島根おおち青年連盟

JAしまね島根おおち青年連盟は、島根県のほぼ中心にある邑南町、川本町、美郷町、江津市桜江町の盟友146名で構成されています。活動については、食農教育活動に力をいれており、管内の保育所、園に野菜苗を配布し、その収穫した野菜と盟友が作った野菜を使って「愛菜カレーの日」というイベントを開催しています。管内すべての保育所、園（16ヶ所）で、園児と一緒に野菜を切ったり、皮をむいたりしてカレーを作り、食べて交流しました。また、盟友が食に関する紙芝居を読んで園児達も熱心に聞いていました。今後もJAしまね島根おおち青年連盟は、未来を担う子供たちと一緒に、食農教育活動を続けていきたいと思っています。



# いわみ中央地区本部 新役員体制紹介

## 就任のごあいさつ



いわみ中央地区本部  
常務理事 本部長  
佐々木 豊

先の第5回通常総代会において理事にご選任いただき、理事会においていわみ中央地区本部常務理事本部長に就任いたしました。

このような大役を仰せつかり身の引き締まる思いでございますが、先輩諸氏並びに理事・監事の皆様のご助言、ご協力を仰ぎ、組合員の皆さんの負託に応えるべく、業務に邁進してゆく所存でございますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

農業、農村そして地域社会を取り巻く環境は依然厳しく、高齢化が進む中山間地を抱える当地区において、どのように中山間地農業を守るのか大きな課題です。

また、JA運営に対する環境の厳しさも増している中、新たな運営体制のもとで『一人は万人のために、万人は一人のために』を基本に、相互扶助のもと絆を大切にし「農業者所得の増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を三本の柱に、地域農業の発展、地域社会への貢献など皆様のご理解とご支援を支えとして、自己改革・業務改革に取り組みながら総合事業を基本として運営し、農業基盤の再構築と豊かな地域づくりを活動の両輪として、組合員・地域の皆様に信頼され、地域に貢献できるJAを目指し、総合力を発揮して参りたいと思っております。

今後ともより一層のご指導、ご協力をお願い申し上げます。

監事 川神 守



(浜田市長沢町)

理事 藤若 将浩



(浜田市長城町)

理事 中東多久夫



(浜田市長沢町)

## 退任のごあいさつ



前 常務理事  
本部長  
井上 宗治

第5回通常総代会をもちまして、任期満了によりいわみ中央地区本部常務理事本部長を退任いたしました。

平成21年6月以来、専務・地区本部長等を含め10年間その任にあたりました。その間、JAしまねの統合や農業関連施設、葬祭センター虹のホールはまだ建設にあたり、組合員・地域利用者の負託に応えるため施設整備を実施しました。

JAしまねの統合に際し、財務調整地区本部としてのスタートでありましたが、組合員の皆様方のご理解とご協力によりいち早く財務調整をクリアでき、本年度総代会にて正式に承認をいただきました。厳しい状況下ではありましたが、組合員の皆様のご理解と役職員の大きな力添えのおかげで、今日を迎えることができました事をありがたく、厚く御礼申し上げます。

長引くマイナス金利の影響や生産基盤の減少等、課題は山積しており厳しい経営環境ではありますが、新たな体制の下で組合員、地域利用者、役職員相互のご理解により、自己改革を前面に農業振興とくらしの活動を事業の両輪としたJA運動が展開されますことを祈念して、退任の挨拶いたします。



徳田 マスエ 前理事



佐々木 貴裕 前理事



森井 和朝 前理事



本田 誠次 前理事

# あぐりニュース

## 安心・安全な米作りを 〜 水稻生産部会総代会〜

6月20日、第14回いわみ中央水稻生産部会総代会が、いわみ中央地区本部ふれあいホールにて総代数192名、本人出席50名、委任出席73名で開催されました。

天野 明部会長は「消費者の米離れが進み、天候の不順が当たり前のようになってい

る中、我々は安心・安全を主にした米を作ることが大切であり、消費者に安心を与えることができる。我々生産者は日々努力しなければならない。」と挨拶されました。

続いて、前年度事業・決算報告及び今年度の事業・

予算などの提案があり、すべての議案について承認されました。

午後からは石央倉庫へ場所を変え、ラジコン草刈り機の実演会を開催し、刈りにくい斜面の草刈りを実演し職員を含む参加者を驚かせました。



## 管内産デラウェア 出荷始まる!



着色もよく、味も甘く美味しいデラウェアに仕上がった。」と挨拶されました。

また、同日、浜田ぶどう生産組合員で出荷目合わせ会を開催、粒の大きさや荷造り方法等を確認しました。管内産のデラウェアは無加温作型で、例年梅雨時期の出荷と重なるため裂果が懸念されており、現在生産者は裂果を中心に慎重に選別作業を行っています。7月下旬まで出荷される予定です。

地区本部では昨年に引き続き贈答企画に取り組んでおり、地元産デラウェアのPRに取り組み消費拡大を目指します。



6月24日、2019年産デラウェアの初出荷が行われ、生産者ら20人が参加しました。佐々木巖会長は「今年は、平年に比べて気温の高い日が続く、降水量も昨年より少なかったことから心配されたが、昨年並みの出荷開始日となった。粒張り、

## 気象に負けぬ稲作りを 〜 青空講習会〜

7月1日〜7月4日にかけて、各地区にて水稻青空講習会を全45会場で開催し、380名の方に参加していただきました。



今年度は平年より19日遅れで梅雨入りとなり、気温も高く、多少傾向に推したため平坦部と中山間地では生育に差がみられます。講習会での

今月のポイントとして「水管理」、「穂肥」、「病害虫対策」、「刈取作業」についてJAの指導員より説明がありました。



今後も引き続き生育状況をよく観察して、適切な水管理に努め、気象に負けない稲作りに努めていただきます。と思います。

## おいしいお芋ができますように！ 第2回 農業体験塾



6月29日、浜田市上府町の畑で農業体験塾の第2回として、さつま芋の苗植えを行いました。今回は14家族35名の参加がありました。初めにさつま芋について、品種や植え方などを勉強しました。参加者は200本の苗を教わった様に、1本ずつ丁寧に植えていきました。「自分たちが植えたお芋がこれからどれくらい大きくなるか楽しみ！」と家族で話ながら収穫を心待ちにしていました。

苗植えが終わった後は、二十日大根の収穫と宝探しゲームを行い、収穫をしながらもお目当ての宝を一生懸命に探しました。すぐに見つけられる子もいれば、なかなか見つけられない子もいて、最後は職員も協力してワイワイガヤガヤ大搜索となりました。

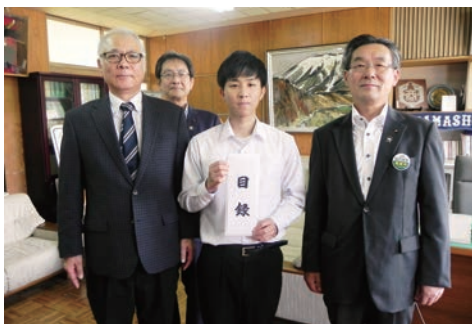
今回植えたさつまいもの収穫までの過程を参加者と一緒に見守り、収穫の時間を参加者全員で迎えたいと思います。



## 石見神楽伝承活動支援金を贈呈

いわみ中央地区本部は、7月27日・28日に広島県安芸高田市で開催された『第9回高校生神楽甲子園』出場の三校に、地域活性化および郷土芸能伝承活動として、協賛金（活動支援金）を贈呈しました。各出場校とも『石見神楽』を通じ、日々地域社会との交流・活性化を目的に活動しており、この大会でも、地域の代表として誇りを持ち、見事に演技していただきました。今後も、石見神楽の承継のため活躍する三校の生徒に、応援をよろしくお願い致します。

出場校は以下の通りです。  
島根県立浜田商業高等学校（郷土芸能部）・島根県立浜田養護学校（神楽部）・島根県立江津高等学校（神楽愛好会）



浜田商業高校



浜田養護学校



江津高校

## アート田んぼで生き物観察！

いわみ中央管内の株式会社藤若農産（代表藤若将浩）は7月14日、6月に田植えを行なったアート田んぼで生き物観察会を開き、



親子やスタッフ総勢60人が参加しました。子供たちは一斉に田んぼに入り、生き物を網ですくってきては、JA職員からヤゴ、ミスカマキリ等の学習をしました。中には、羽化したばかりの白いトンボも見つけ、歓声が上がりました。

観察の後は、地元町内会の協力で、バーベキュー交流会をしました。また、いわみ中央青年連盟有志らに

よって、参加者とイチゴとブルーベリーのスムージーづくりの体験もあり、楽しい時間を過ごしました。





## 自然を満喫！ 三隅支店ふれあい企画旅行

6月25日～26日、三隅支店ふれあい企画旅行がありました。今年は高知県の自然に触れていただこうと計画し、34名の方の参加がありました。初日は晴天に恵まれ、クロード・モネが愛した北川村の「モネの庭」を散策。2日目はあいにく



の雨となりましたが、一級河川の水質ランキング全国1位になったこともある仁淀川を屋形船に乗って楽しみました。昼からは雨もひどくなり、全員の方に見ていただくことはできませんでしたが、神秘的青さで有名な『にこ淵』に降りると「すごい、きれいだね〜！」と青さにびっくりされていました。夜の懇親会では歌あり、スコップ三味線の披露あり、大いに盛り上がり楽しいひと時となりました。支店旅行はこれからも毎年行う予定にしていますので、ご参加をお待ちしております。



## 弥栄支店まつり2019開催

弥栄支店では、7月3日～4日の2日間で「弥栄支店まつり」を開催しました。この支店祭りは、JA弥栄女性部（徳田マズエ部長）と協力し、日頃の感謝を込めて組合員へのおもてなし活動を行い、支店を身近に感じていただくことを目的とし開催しています。この日、女性部は炊込みおにぎりとしじみ汁のセットや野菜・漬物などを販売しました。

弥栄営農経済センターの展示会コーナーでは、スポーツ用品や衣料品など7業者が、これからの季節に合わせた商品を取り揃え会場は賑わいました。

石田誠支店長は、「初日はあいにくの天気ですが、たくさん来店していただけるか不安でしたが、女性部の協力もあり、多くの地域の皆様や組合員に来ていただき嬉しい。」と感謝の気持ちを述べました。来店者には、かき氷や来場記念品のプレゼントもあり、支店祭りは大盛況に終わることが出来ました。



## 第9回 JAしまね浜田協友会 親睦GG旅行

浜田協友会（職員OB会）が毎年開催しており、今年で第9回目を迎えた「親睦グラウンド・ゴルフ日帰り旅行」を去る6月13日に開催し、益田市美都町の『ひだまりパークみと』へ行ってきました。

浜田、浜田西、浜田東支店の支店長も同行し、総勢23名での日帰り旅行となりました。当日は天候にも恵まれ、皆さん元気ハツラツとしたプレーを展開し、ホールインワンあり、珍プレーありで合計2ラウンドを回り、汗を流しました。

昼食は美都温泉「湯元館」へ場所を移し、午前中の疲れを癒すため温泉に浸かり、湯上りには冷たい生ビールで喉を潤し、そのまま宴会へ…。豪華ランチに舌鼓を打ち、昔話に盛り上がり和気藹々、楽しみました。

なお、GGの順位は左記の通りです。

- 優勝 佐々木 敬子様
- 準優勝 梨田 美恵子様
- 第3位 倉橋 英二様

参加いただいた会員の皆様ありがとうございました。なお、参加できなかつた会員の方も来年、第10回大会を企画しております。OBの皆様の参加をお待ちしております。必ず楽しい一日になりますので是非ともご参加下さい。



# 教えて野菜作り!

2019年8月号

## サラダで人気! 桃紅肉の丸ダイコンの栽培はいかが?



### ○丸い中国ダイコン

葉は濃緑の切葉、抽根部は緑色、地下部が白色の丸い中国のダイコンです。適期栽培では根部の直径が7~9cm程度になります。パリッとした食感と綺麗な色合いが楽しめ、家庭菜園のみならず直売所にもおすすめです。

### ○肉色は鮮やかな桃紅色

形状もユニークですが、輪切りにした内部の色は鮮やかな桃紅色で美しいと好評です。



例(タキイ紅心大根)

### ○食味良好

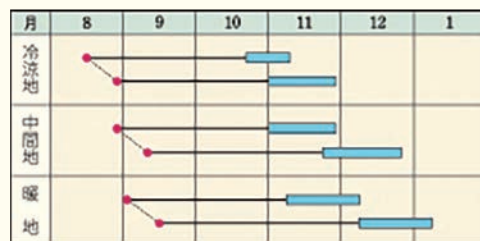
肉質は甘みに富み、歯切れがよく、おいしいダイコンでサラダやおろし、漬物にも適します。色鮮やかで見た目にも美しく、もちろん食べてもおいしいダイコンです。

### 1、土作り・畝立て

保水性・排水性がよい圃場を選び、できるだけ耕土の深い場所を選ぶと、すっきりした形状のダイコンが栽培できます。

圃場には苦土石灰を撒き、よく耕し、その後種まきの10日以上前に完熟堆肥と化成肥料を入れ、土によくなじむように耕します。

畝立ては土質に応じて高さを変えます。水はけの悪い畑では畝の高さを20cm以上、水はけのよい畑なら10cm程度をめどにします。畝幅は100~120cmが標準です。



### 2、タネまき

タネは1カ所に3~4粒をまきます。深さは約1cmとし、乾燥しやすい畑では、土をかけた後に軽く上から押さえておきます。タネをまいた後は水をかけ、タネと土がしっかりなじむようにしておきます。株間、条間、については品種によっても異なりますがおおよそ株間20~30cm、条間40cmとします。また、プランターでの栽培も可能です。

### 3、間引き・追肥

間引きは2回に分けて行います。1回目は本葉が2~3枚のころに2本に、2回目は本葉が5~6枚のころに1本にします。間引くコツは、他のものと違う株を優先的に間引いて、全体の大きさが揃うようにします。また、2回目の間引きを行った時に追肥・土寄せを行います。

※ 秋まきでは、キスジノミハムシによる食害、ハイマダラノメイガによる芯食い、コナガによる食害が問題になります。特にタネまき時期が早い場合はキスジノミハムシやハイマダラノメイガの害はタネまきの直後から注意が必要です。できるだけ農薬の使用は避けたいところですが、被害が大きくなってからでは防除もなかなか難しいので、畝立て時に適用のある殺虫剤の粒剤を土に混ぜる、水和剤などを早めに散布するといったことで防除してください。

(薬剤についてはご相談下さい。)

収穫までの日数も品種によって異なりますが、9月上旬まきの「紅心大根」では約70日が目安です。しかし、「家庭菜園では食べたい時が収穫時期」ということで、お好みの大きさで収穫してもよいでしょう。

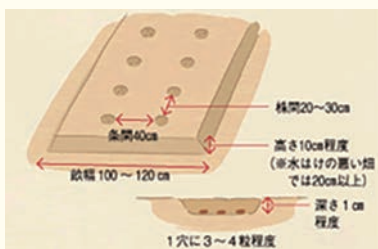
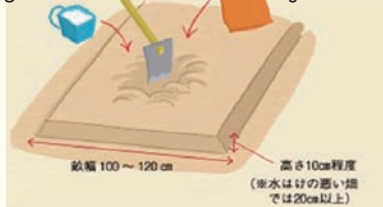
(施肥例 1㎡当り)

肥料名	元肥	追肥	備考
苦土石灰	120g		サンライムも可
完熟堆肥	3kg		
野菜美人	80g	月に1回40g	化成肥料

**Point**

形状のよいダイコンを栽培するには耕土の深い場所を選びましょう。

1㎡当たり化成肥料80gを施す  
1㎡当たり堆肥を3kg施す





島根県西部農林振興センターからのお知らせ

農作物の台風対策

台風や大雨は、毎年全国各地に農作物被害をもたらしています。昨年は、1月に発生した第1号を皮切りに29個の台風が発生し、そのうち7個が中国地方へ接近しました。6月29日に発生した台風7号は、東シナ海を北上し日本海を抜けた後、台風からの暖かく湿った空気の影響で梅雨前線が活発化し、西日本を中心に死者237人を数えた「平成30年度7月豪雨」をもたらしました。島根県内においても、江の川流域で200棟以上が床上浸水し、農作物においても甚大な被害をもたらしています。



今年は、6月末までに4個の台風が発生しています。これからの季節は台風の接近回数が増える時期となりますので、万が一の場合に備えて、被害を最小限にするための対策や日頃の確認を行いましょう。

— 対策例 —

- ・排水路や用水路の清掃、補修、ポンプの定期的な確認を行う。
- ・被覆資材の確認や補修を行う。特に骨組、防風ネット、果樹棚等はしっかりと固定・補強する。
- ・マルチ栽培の場合、裾の覆土、押え資材の確認と補強を行い、風雨による浮き上がりを防ぐ。
- ・出荷や収穫可能なものは早めに収穫する（農薬散布から収穫までの経過日数に注意！）。
- ・風雨により資材や飼料が濡れて品質が低下しないよう、安全な場所に移動させる。

水路清掃の様子



マルチ裾の覆土



ほ場の見回り・資材の補修は安全を優先し、無理な作業は避ける

ほ場の見回りなどは大雨や強風が治まるまでは行わないでください。治まった後であっても、増水した水路や傾斜地のほ場など、危険な場所や周辺の安全に十分注意が必要です。

気象情報を十分に確認

適時適切な対策を行うためにも、最新の気象情報を確認しましょう。

通過後も注意

風雨で農作物が傷ついている場合は、病害に注意が必要です。また施設栽培においては、強風により被覆資材が損傷すると害虫の侵入口になりますので、適切な処置をしましょう。

島根県西部農林振興センター浜田農業普及部：0855-29-5622

# 産直トビックス



枝豆の摘芯、  
コリンキー  
の収穫。



【第20回 7月3日】  
座学ではいんげんの栽培について島本職員より説明がありました。  
ハウス栽培…4月に種まき…6月に収穫  
露地栽培…5月に種まき…10月まで収穫できる。  
排水に注意し、効き目効果が薄れるので農薬は同じものを使用しないこと。  
座学後は、美川の圃場に行き作業をしました。  
メロン・コリンキーの追肥、トウモロコシの選定、ペビーコーンの収穫、

## 7月の営農塾



【第21回 7月17日】  
座学では「秋冬野菜の栽培をスタートする前にやっておくこと」として、ポイント！  
・ 圃場の整備：夏野菜を片付ける。草丈の高い野菜が多いので、引き抜いて数日置いて乾燥させてから片付ける。  
支柱やネットも撤去し、水洗いしておくのがベスト。  
・ 太陽熱を利用して土壌をリセットする。  
・ 石灰、肥料分の補給をする。  
その後は、トウモロコシ、いんげん、枝豆、コリンキーの収穫をしました。いんげんは、かなりの収穫量があり、まっすぐに立派ないんげんの出来でした。トウモロコシも実がぎっしり詰まり、甘くておいしいものが収穫できました。3期生6人で栽培した農作物が見事に育ち、たくさん収穫できて満足そうでした。



## 7月の育成塾

【第3回 7月16日】  
今回は、山陰種苗の大畑社長を講師に招き、秋まき野菜の講習会（露地野菜用）をしました。  
白菜・ブロッコリー・キャベツ・人参・大根の品種の選び方から播種・定植・病気について話を聞きました。  
播種の時期や病気に強い品種を選び、施肥量も作型によって行うなど詳しく説明がありました。また、病気についても発生要因と対策について説明があり、現在、産直にも出荷をされていたり、野菜栽培のベテラン受講生も熱心に聞き入り質問されました。

## サプライズ



「トップ 美人？人參？モデル」  
江津市嘉久志町 三明 百合夫様



「こだわり」  
浜田市旭町 匿名様



JAしまね いわみ中央地区本部

# 組合員ふれあい ゴルフコンペ 開催!!

## 目的

当地区本部の組合員の皆様を対象として、組合員相互の親睦を図るとともに、JAしまねの各事業への協力・利用促進を目的として開催します。

## 日時

令和元年10月26日(土) 午前7時00分受付開始  
7時30分からOUT・IN同時スタート

## 場所

金城カントリークラブ  
(浜田市金城町今福1502-2) 電話：0855-42-1111

## 募集人員

120名 (30組)

## 参加資格

当JAの組合員または組合員家族の方  
※JA組合員でない方はお知り合いのJA組合員(家族含む)の方とご一緒にお申込みください。

## 参加料

1人2,000円(当日徴収致します)  
※プレー代、昼食代は各自でご精算ください。

## 申込方法

最寄りのJA店舗にある参加申込書でお申込みください。

## 申込締切

令和元年9月27日(金)  
※定員になり次第締め切りとなります。

## ルール

ダブルペリア方式

## 賞

優勝、準優勝、飛び賞、ドラコン賞、ニアピン賞、ブービー賞、参加賞ほか  
※浜田開府400年祭を記念して、飛び賞は4を基準に設定しています。

## 結果報告

表彰式は行いません。  
後日、参加者全員に結果表、入賞者に各賞をお送りします。

## 問合せ先

いわみ中央地区本部 企画総務部 総務課  
電話：0855-22-0202 F A X：0855-23-3184

夏に負けるな！  
スタミナ料理教室〜芦谷支部〜



いわみ中央女性部三隅 芦谷支部（中田孝子部長）は7月10日にスタミナ料理教室を開催しました。

メニューは全て「家の光」から選び、『フライパンパエリア・キャベツのレモン漬け・簡単冷や汁・抹茶とアズキのケーキ』の4品を作り

ました。特にパエリアはあまり作ったことがないと言うことで、みなさんどのような出来上がりになるか楽しみに作っていききました。他にもケーキは焼かずに作ることができ

るので「暑くなるこれらの時期に手軽に作る事ができる！」と好評でした。

まだまだ暑くなることが予想されますが、食欲そそるスタミナ料理でこれから夏本番へむけ、体力をしっかりつけて欲しいです。



家の光記事活用で  
手芸教室〜旭女性部〜



いわみ中央女性部旭（川平正子部長）は、7月12日 JAしまね旭支店2階で、家の光記事活用の手芸教室を開催しました。今回は家の光2019・3月号から、ペーパーナプキンを使い『ペーパーフラワー』を作りました。ペーパーナプキンを折り重ね広げて花を作ります。5色用意されたペーパーを組み合わせたリ、切り方を変えいろいろな花を咲かせて楽しみました。好みの香りのアロマオイルを数滴水に落とすと、部屋の中が癒しの空間となる事でしょう。

昼食をとりながらおしゃべりをし、午後からは家の光2019・4月号から『幸福を呼ぶボンボン』作りをしました。6月に開催された西部3地区女性部ふれあい研修会へ参加し教わった部員が先生となり、毛糸を使いボンボンを作りました。丸く毛糸をカットし仕上げは造花を挿して完成！

出来上がった作品は、8月のふれあいの集いで展示いたします！



農作業着ファッションショーの  
モデルとして登場！



7月13〜14日に松江で開催された『アグリミーティング2019 inくにびきメッセ』で、JAしまね女性部フレミス部会企画の農作業着ファッションショーがおこなわれ、徳田マスエ部長（いわみ中央女性部）がモデルとして出演しました。

会場では「農業女子コーナー」が開設され、農作業に適し、かつおしゃれな作業着や帽子などの展示・販売が行われました。いつもより少しおしゃれな作業着のコーディネートで、徳田部長はランウェイを颯爽と歩かれました。いわみ中央女性部に声をかけ徳田部長の応援に多くの部員が参加し、いわみ中央女性部のチーム力を発揮することが出来ました。





## 7月の講義『浴衣の着付け教室』

7月11日JA女子大学5期生は、7月の講義『浴衣の着付け』に挑戦しました。

今回は営農企画課 前田職員が講師となり、一人一人自分で指導を受けながら浴衣を着つけていきました。浴衣を羽織り裾丈を合わせるところから四苦八苦！体の前で半幅帯を結んで型を作り、くるっと回し後ろへ。参加者のほとんどが自分で着るのが初めてで、「浴衣を着たことがあっても自己流で、作り帯しか使ったことがないけど、帯を前で結ぶと一人で出来るね。」と、話しました。



浴衣や帯の柄に合わせていろいろな結び方を教わり「わぁーすごい！かわいい！」と歓声が上がりました。写真撮影を終えた後は、浴衣の畳み方を実践し講義は終了。

参加者の一人は「せっかくの機会なので今日は浴衣のまま帰り家族に見てもらいます。」と帰宅しました。

浴衣の着付け体験を通して、日本の文化を少しの時間ですが学ぶ事が出来ました。

## \* JA女子大学OG会 \*

### 紫陽花～ラッキョウ漬け～

JA女子大学OG会紫陽花（瀧本俊子会長）は、6月20日いわみ中央地区本部にて『ラッキョウの甘酢漬け』5kgを漬け込みました。家の光6月号の『極上のラッキョウ漬け』特集の漬け方を参考に、浜田女性部の山崎佳子部長に指導をいただき作業を行いました。

作業工程で冷ます間の時間には、山崎部長に折り紙を教わったり、おしゃべりをしながら楽しい時間を過ごしました。

漬け込んだラッキョウは、冷蔵庫で2か月ねかせて食べごろを迎えます。1kgずつ各自瓶詰めし、心待ちに持ち帰りました。



## 《きてみちゃんさい》 募集案内

### ～第1回 葬祭マナー研修会～

JA女性部が企画する研修会です！

研修会を通して新しい仲間をつくりませんか？

知っておくと役に立つ!!  
今さら聞けない  
葬祭マナー

開催日：令和元年9月2日(月) 午前10時00分～午後2時00分	【日程】	
会場：JAしまねいわみ中央地区本部 2階 ふれあいホール	10：00～	葬祭マナー研修会
講師：JAしまね葬祭センター職員	12：00～	昼食
参加費：500円（昼食代を含む）	13：00～	レクリエーション
定員：30名	14：00	閉会
締切日：8月23日(金)		

\*JA女性部と一緒にやりたい事を見つけて、楽しく学びましょう!!

お申込み・問い合わせ先 いわみ中央地区本部ふれあい課  
TEL：0855-22-0202 FAX：0855-23-3184

# JAしまね統合4周年企画旅行

秋・石見空港発着 **FDA** 直行チャーター便利用!!

**総合ポイント対象旅行**  
 JALまね総合ポイントカードのある旅行は、本ポイント付与対象の商品となります。  
 有効期限：2024年10月1日～2025年3月31日

世界自然遺産

# 屋久島・科学と歴史の島 種子島

**3日間**

2泊とも2名様より1部屋をご用意

協賛・秋・石見空港利用拡大促進協議会

観光観光サイト **とんかごしまの旅**  
 協力：観光がしま大キャンペーン推進協議会



旅行実施日 **令和元年 10月13日～15日** (火)  
 旅行代金 (大人お1人様2名様1室利用、秋・石見空港起点、税込)

スタンダードホテル (Aプラン)	<b>139,800円</b>
デラックスホテル (Bプラン)	<b>149,800円</b>
ラグジュアリーホテル (Cプラン)	<b>169,800円</b> <small>限定2組</small>

次のものは旅行代金に含まれません。(おひとり様当たりの代金です)  
 注1) 〇整備付特別乗車 2,000円(5月実施分)  
 〇国内旅行総合保険 補償内容・掛金は販売店までお問い合わせ下さい。  
 注2) おひとり様部屋ご希望の場合、2泊での追加代金を申し受けます。  
 注3) おひとり様申込で相部屋をご希望の場合でも、相手が見つからない場合、注2)記載の追加代金を申し受けます。

- 旅のポイント**
- 1 地元秋・石見空港からFDA直行チャーター便でらくらくと飛べ! 約1時間20分で種子島へ!
  - 2 秋・石見空港までは「便利な送迎バスプラン(注1)(詳細下部参照)」をご用意しています!
  - 3 ベストシーズンの種子島・屋久島を3日間で巡ります。
  - 4 昼食・夕食共に地元の名産品を用いた料理をご堪能いただけます!
  - 5 スタンダード、デラックス、ラグジュアリー-の3タイプからお好きなホテルをお選びいただけます! すべて1泊2名1室利用。

**募集人員** 80名様(最少催行人員60名様)  
 ※各ホテルプランの合計募集人員が80名となります。  
**申込締切日** 令和元年9月20日(金)(ただし、満席になり次第締め切ります)  
**申込金** 30,000円(旅行代金に充当します)  
**添乗員** 秋・石見空港より同行し旅程管理業務を行います。  
**利用航空会社** フジドリームエアラインズ(FDA)チャーター便  
**食事条件** 朝食2回、昼食3回(弁当含む)、夕食2回  
**利用バス会社** 屋久島交通種子島支社及び屋久島支社、又は同等クラス



**JRホテル屋久島**

1日 種子島いわさきホテル

2日 JRホテル屋久島

3日 屋久島観光センター

**ラグジュアリーホテル(Cプラン) 限定2組**

1日 種子島いわさきホテル

2日 屋久島いわさきホテル

※上記ホテルは、同等クラスまたは同等クラス以上に変更になる場合があります。最終しおりにてご案内いたします。

**国内旅行条件(契約)** 本旅行の条件に同意の上、お申し込みください。  
 本旅行は、秋・石見空港発着の直行チャーター便を利用した旅行です。...

**国内旅行保険加入のすすめ** 本旅行は、秋・石見空港発着の直行チャーター便を利用した旅行です。...

行程	入場観光、下車観光、車窓観光	食事
1 指定配車場所 秋・石見空港(11:10) → 種子島空港(12:30) =	(お弁当) FDAチャーター便	朝 晩
○種子島開発総合センター / 鉄砲隊	☆赤尾木城文化伝承館	
○種子島開港記念館	☆種子島開港記念館	
○JAXA種子島宇宙センター	☆種子島開港記念館	
2 ホテル(8:00) = 西之表港(午前) → 宮之浦港(午前) =	高-speed 111便	朝 昼 晩
○屋久島観光センター	☆屋久島観光センター	
○屋久島観光センター	☆屋久島観光センター	
○屋久島観光センター	☆屋久島観光センター	
3 ホテル(8:00) = 屋久島観光センター = 宮之浦港(午前) →	高-speed 112便	朝 晩
○西之表港(午前)	☆千人が癒れるとも	
○種子島空港(13:00/15:00) → 秋・石見空港(16:30) = 指定配車場所	(お弁当) FDAチャーター便	

※ご集合場所・出発時刻は出発空港開港を自認にお届けする「旅のしおり」でご案内いたします。  
 ※旅行行程の時間的余裕はあくまでも目安です。交通機関の都合により変更になる場合があります。  
 ※秋・石見空港利用拡大促進協議会助成金制度が利用されているため、お客様自身におけるお申し込みは出来ません。

**便利な送迎バスプラン(注1)** 次のルートで 往復3,000円(税)にてご利用いただけます!  
 大朝IC → 瑞穂IC → 旭IC → JALしまねいわみ中央浜田支店 → 秋・石見空港 運行締切日!

※本旅行の条件に同意の上、お申し込みください。本旅行は、秋・石見空港発着の直行チャーター便を利用した旅行です。...



# キラリ いー顔！ 三隅フォークダンスの会

三隅フォークダンスの会は昭和61年から活動し、長く愛されている会です。三隅町全体から集まったメンバーは約40人、毎週火曜日（19：30～21：00）と木曜日（13：30～15：00）に活動しています。また毎週金曜日には資格取得者の方が集まる上級コースもあります。皆さん楽しみながら活動されており、秋には中央会館で「三隅フォークダンスの集い」が開催され、そこでも披露されるそうです。興味のある方は見学OKですので一度見に行ってみてはいかがでしょうか。



## 福祉センター通信

# 正職員募集

**居宅介護支援専門員**



居宅介護支援事業の職場です。ケアマネジャーの仕事に興味がある方JAで活動してみませんか？

**仕事内容**  
居宅介護支援事業所でケアマネジャーの業務を募集しています。

**資格**  
居宅介護支援専門員（ケアマネジャー）運転免許の資格が必要です。

**募集定員**  
**募集2名**

正職員とは別に時間の短い非常勤雇用（パート）も対応しています。活動に興味のある方は連絡ください。  
JAしまねいわみ中央福祉センター TEL：0855-22-8918 担当 今若

## 年金相談会

9月3日(火) 弥栄支店 午後3時から午後7時まで  
 9月10日(火) 旭支店 午後3時から午後7時まで  
 9月29日(日) 浜田支店 午前9時から午後3時まで

## メガネ・補聴器巡回スケジュール

開催日	時間	会場
9月9日(月)	午前9時から午後3時まで	美川事業所
9月10日(火)	午前9時30分から午後3時まで	Aコープごうつ前
9月11日(水)	午前9時から午後3時まで	Aコープあさひ前
9月12日(木)	午前9時から午後12時まで	Aコープやさか前
9月18日(水)	午前9時から午後3時まで	三隅支店前
9月24日(火)	午前9時30分から午後3時まで	波佐事業所
9月25日(水)	午前9時から午後3時まで	旧和田事業所
9月26日(木)	午前9時から午後3時まで	雲城出張所
9月27日(金)	午前9時から午後3時まで	金城営農経済センター

ご自身・ご家族のメガネ調整、補聴器点検等気軽にお立寄り下さい!!

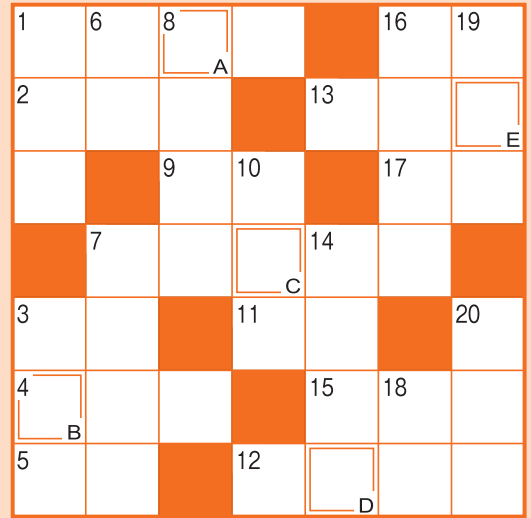
タテのカギ

- ① テレビのリモコンにはたくさん付いています
- ③ くだらかな——が続く丘陵地
- ⑥ 合唱部が練習するもの
- ⑦ 耳かきと共に行方不明になりやすいそうです
- ⑧ 今からこれじゃ、——が心配だなあ
- ⑩ 仲人から紹介を受けて、伴侶候補と会います
- ⑭ 宴会でグラスをみんなで掲げて……
- ⑯ 相撲の勝敗を記録した——表
- ⑱ ゴホゴホゴホ
- ⑲ 価格が高くなること
- ⑳ 煮物などに使う、アルコールを含む調味料

ヨコのカギ

- ① 9月1日は——の日。非常持ち出し袋や避難経路を確認しましょう
- ② 高知の名物料理、カツオの——
- ③ 皮膚の表面にある細かな模様。——の細かい肌
- ④ 食器を拭く布です
- ⑤ いがに守られた実がなります
- ⑦ 晴れた十五夜にはとても明るい
- ⑨ 矢を射る道具
- ⑪ 陽の反対語
- ⑫ 国や地方自治体に納めます
- ⑬ 首都はモスクワ。大きな国です
- ⑮ 肉料理に添えたり、刻んでスープに浮かべたりする香草
- ⑯ 傘にも凧(たこ)にもあります
- ⑰ バラの茎にある突起

二重マスの文字を A ~ E の順に並べてできる言葉は何でしょうか？



答え

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で40名（JAしまね全体）の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒697-0024 浜田市黒川町3741番地  
JAしまね いわみ中央地区本部 ふれあい課 「クイズ」係  
2019年9月5日（木）（当日消印有効）

先月号の答え 「キモダメシ」



・お預かりした個人情報は、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはありません。



要注意、熱中症

JA島根厚生連

毎日暑い日が続いていますね。夏は熱中症に注意が必要です。重症化すると命に関わります。熱中症の症状を理解し、予防に努めましょう！

◎熱中症は、高温多湿な環境に私たちの身体が適応できないことで生じる様々な症状の総称です。以下のような症状が出たら、熱中症にかかっている危険性があります。

- 1. めまいや顔のほてり
- 2. 筋肉痛や筋肉のけいれん
- 3. 体のだるさや吐き気
- 4. 汗のかき方がおかしい（何度拭いても汗が止まらない、まったく汗が出ないなど）
- 5. 体温が高い、皮膚の異常
- 6. 呼びかけに反応しない、まっすぐ歩けない
- 7. 水分補給ができない

このような症状が出ないように、日頃から熱中症の予防・対策をおこないましょう。

●熱中症の予防のための3つのポイント

- ① **脱水対策**——のどが渇かなかつたり、汗をかかなくても水やお茶などでこまめに**水分補給**します。大量に汗をかくと、汗とともに塩分（ナトリウムなど）も失われます。その場合は、水分に加え、塩分補給が必要です。スポーツドリンクを利用してもよいです。入浴時や睡眠時にも汗をかいているので、入浴前後、寝る前、起床時にも水分を補給しましょう。
- ② **体の内部の温度を上げない**——外出するときは、**11～15時ごろの日中の暑い時間帯**を避けます。また、外出や屋外での活動をする場合は、天気予報や環境省の「熱中症予防情報サイト」で、暑い日や時間帯を確認するとよいでしょう。外出したら、こまめに涼しい場所での休憩をはさみ、水分補給をします。
- ③ **室内を涼しくする工夫**——熱中症の約40%は室内で起きているというデータもあります。部屋はカーテンなどで日ざしを遮り、**エアコンと扇風機を併用**して温度を下げましょう。特に高齢者は、暑さを感じにくい場合があります。**温度計や湿度計**を使って数字で確認し、温度は28℃、湿度は70%を超えないようにします。

正しい理解・適切な予防で、暑い夏を乗り越えましょう！！

ハチを見かけたら巣づくり警報!

**無料調査**  
**ハチ駆除**

近寄らず、触らず!!  
ハチの駆除はプロにお任せください。

ハチの駆除をご希望の方は  
最寄りのJAまでご連絡ください。  
JAしまね取扱業者(株)コダマサイエンスの  
地区担当者が訪問させていただきます。



お問い合わせ先

最寄りのJA各支店・  
支所にお問い合わせ  
ください

取扱業者

(公社)日本しるあり対策協会企業登録(島根県002・鳥取県002)

**Kodama 株式会社 コダマサイエンス**

■本社 / 島根県松江市西嫁島2-8-23 ☎0852-43-0852

■松江営業所 / ☎0852-26-6757 ■江津営業所 / ☎0855-52-6852

■益田営業所 / ☎0856-22-5390 ■隠岐営業所 / ☎08512-2-2471



## 島根県立農林大学校 入学試験実施のお知らせ

- 募集人員** ①農業科(有機農業・野菜・花き・果樹・肉用牛) / 40名【修業年限2年】  
②林業科 / 20名【修業年限2年】  
③短期農業経営者養成科 / 5名【修業年限1年】

- 試験日** 学校長推薦 / 令和元年10月30日(水)  
一般前期 / 令和元年12月11日(水)  
一般後期 / 令和2年2月13日(木)  
地域推薦 / 随時  
自己推薦 / 令和元年10月30日(水)、31日(木)  
※一般後期試験は実施しない場合があります。

- 試験会場** 島根県立農林大学校 (大田市)

◆詳しくは◆  
農林大学校の  
ホームページ、または  
農林大学校  
☎0854-85-7012  
まで。

## 簡単ガパオライス



ご飯の上にピリ辛いひき肉を乗せ、目玉焼きと一緒に食べるタイ料理の定番ご飯「ガパオライス」です。日本人の口にも合う味です。暑い夏にピッタリの料理で、フライパンひとつで作れるので、サッと手早く食べたい時にもおすすめです。

### ●材料（2人分）

鶏ひき肉……………	180g	赤唐辛子（小口切り）……	1本
酒……………	大さじ1	卵……………	2個
赤パプリカ……………	1/2個	オイスターソース、ナンプレー	…………… 各大さじ1
ピーマン……………	60g	砂糖……………	小さじ1/2
玉ねぎ……………	60g	サラダ油……………	大さじ1
バジル……………	20枚	ごはん……………	2人分
にんにく（みじん切り）…	5g		

### ●作り方

- ①玉ねぎ、ピーマン、赤パプリカは1cm角切り。
- ②フライパンにサラダ油、にんにく、赤唐辛子を入れ香りをだす。
- ③鶏ひき肉を入れ、酒をふりかけて炒める。
- ④玉ねぎ、ピーマン、赤パプリカを入れ炒め、しんなりしたら④の調味料を入れる。
- ⑤手でちぎったバジルを軽くまぜ、火を止める。
- ⑥目玉焼きを焼く。
- ⑦皿にご飯を盛り、⑤と目玉焼きをのせる。

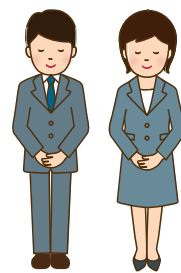


## JA共済ご加入時におけるおさいふカードへのポイント付与廃止のお知らせ

平素はJAしまねをご利用いただき、誠にありがとうございます。

さて、当JAでは、新規でJA共済にご加入いただいたご契約者のみなさまに、「おさいふカード」へのポイント付与を行っておりましたが、**行政庁の指導により**、令和元年9月30日までの新規共済契約をもちまして、おさいふカードへのポイント付与を終了させていただきます。何卒ご了承いただきますよう、よろしくお申し上げます。

今後も組合員・利用者のみなさまにご満足いただけるサービスの提供に努めてまいりますので、変わらぬご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



### 表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直通（ののむらなおみち）先生に描いていただいています。

今月の表紙は大田市三瓶町の「浮布池」です。浮布池は、三瓶山の堆積物が谷の出口をふさいで出来た堰き止め湖で、池の南岸近くにある中の島には瀧幣姫神社（にべひめじんじゃ）が祀られています。池の北岸からは水面に浮かぶ神社の鳥居が望め、幻想的な風景が当地に伝わる女性と大蛇の悲恋伝説を連想させます。

### 編集後記

本店トピックスでご紹介した「アグリミーティング」と「大産直市」。私も高校生ブースを見学しましたが…、高校生たちがキラキラした眼差しで商品を説明してくれると買わないわけにはいきませんよね。おすすめされるがまま、ついつい買すぎてしまいました。後悔はありません。おじさんは格好をつけたかったのです。高校生のみんな！おいしかったよ！（和）

### 【今月の表紙の原画】

レイアウトの都合により表紙のイラストは原画の一部表示となっております。原画の全体は次のとおりです。

